



令和6年度 学校便り

# 与論中だより

令和7年2月27日 与論町立与論中学校

校訓  
誠

体協創自  
力気方調造主

## 心の壁を越えて～SHOGEN さんからの熱いメッセージ～

校長 吉松 浩志

2月14日（金）、期末テスト終了後に、ペンキ画家アーティストの SHOGEN（ショーゲン）さんをお招きし、講演会を開催しました。



SHOGEN さんは、一枚の絵との出会いをきっかけに会社を退職し、単身でアフリカのブンジュ村へ。現地で「ティンガティンガ」というペンキアートを学びながら村人と生活を共にした経験から、人生を豊かにする数々のメッセージを伝えてくださいました。

「言葉は相手をハグするように優しくかける」「けんかはその日のうちに仲直りする」「相手が信じる未来を応援する」など、SHOGEN さんの熱い語り口は、生徒たちの心に深く響いたことと思います。

翌日は、SHOGEN さんによるペイントアートイベントを実施しました。当日は町の生涯学習フェスタおよび文化祭と重なったため、中学生の参加は全校生徒の4分の1程度でしたが、小さな子どもからご高齢の方まで、延べ約200名もの幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。中には、与論中学校の第1期生である89歳の女性や、東京、神奈川、千葉、新潟など遠方から駆けつけてくださった方もおり、SHOGEN さんの人気の高さがうかがえました。

イベントでは、SHOGEN さんのライブペイントから始まり、「下書きは不要」「失敗はない」「自由に描いて」という言葉と共に、参加者は思い思いに、今の気持ちや思いを壁にぶつけ、自由に絵を描き始めました。参加者の顔は皆、生き生きとした笑顔で溢れ、時間が経つにつれ、真剣な表情に変わり、時間を忘れて絵に没頭する姿が印象的でした。

絵の上手い下手に関係なく、感情や思いを自由に表現することで、心が解放され、壁に描かれた一つ一つの絵が、それぞれの個性を放ち、見る人の心を惹きつけました。その日、その場所で、その瞬間の感情や思いを自由に表現する。まさに、その時、その場所でしかできない体験こそが、このイベント最大の魅力であったと改めて感じました。



## 充実した学校生活に！！

2月中旬に行った学校評価について結果を掲載します。今後の学校生活の改善に役立てていきます。貴重な御意見・アンケートへの御協力ありがとうございました。

### 令和6年度 学校評価3学期比較

4:とてもそう思う 3:少しそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

評価項目	番	評価項目	上位2割		下位2割	
			生徒	保護者	職員	平均
確かな学力の育成	1	意欲的に取り組む授業。授業(主体的・対話的・深い学び)にいかすための研修等。	3.1	3.1	3.5	3.3
	2	分かりやすい授業やまとめ、授業充実の3ポイント(目標の明確化、山場の工夫、確かめ見届け)の取組。	3.1	2.9	3.4	3.1
	3	学力検査等の課題の把握・分析、改善と学力定着のための取組。	2.8	2.5	3.2	2.8
	4	生徒の特性を踏まえ、個に応じた指導。	3.3	3.0	3.3	3.2
	5	家庭学習(日常課題、週末課題、読書等)の充実。	2.7	2.6	3.2	2.8
豊かな心・健康な体の育成	6	人権教育を基盤にいじめや差別のない教育の実践。	3.7	3.6	3.4	3.6
	7	「命の大切さ」「誠の心」「思いやりの心」「自他を尊重する心」の育成。	3.6	3.5	3.5	3.5
	8	家庭や関係機関と連携した不登校生を生まない広げない取組の継続。	3.6	3.4	3.4	3.5
	9	生徒会活動(学級、学年を含む)取組の充実。	3.5	3.5	3.2	3.4
	10	保健指導、食育・給食指導、体力向上の指導、安全指導(交通事故・海難事故防止等)についての取組。	3.5	3.4	3.4	3.4
信頼される学校の創造	11	海洋教育(小中高連携、「島だち」に必要な力、レポート等)を充実させるための活動・取組。	3.4	3.5	3.5	3.5
	12	学級、学年、学校の様子、進路情報等の伝達・提供。	3.0	3.6	3.9	3.5
	13	清掃指導の徹底、学校の環境美化と安心・安全な学校。	3.5	3.5	3.3	3.4
	14	服務規律の厳正確保、生徒や保護者、地域の方への丁寧な接遇。	3.4	3.4	3.8	3.5
	15	PTA活動において、活動方針(メディアキャッチフレーズ:9時だよ!接続終了等)の意識した取組、地域行事等への参加。	2.7	3.4	3.5	3.2
平均			3.3	3.3	3.4	3.3

概ねどの項目も3以上の高評価でした。特に6・7・14の項目は生徒・保護者・職員の平均評価が3.5以上の高評価となりました。学校生活はもちろんのこと家庭の中でも高い意識をもって取り組んでいることのと表れと考えられます。2・3・5の学習面での生徒・保護者・職員の評価の平均がアンケート項目の中では低くなっています。

「PTA活動重点食育」「安全管理」「学習指導」「生徒との関わりや対応」「学校生活での服装等」等多くの御意見いただきました。「PTA活動方針」「危機管理マニュアル」「生徒指導に関する諸規定」等の見直しや確認を行い、学校生活の改善に生かしていきます。

また、学習面では、令和7年度も「学習者主体の授業」実現プロジェクトの実践校区として「学ぶことは楽しい」と感じられる授業が実現できるように取組を推進していきます。御家庭でも家庭学習への励ましやアドバイスなど御協力をよろしくお願いいたします。

## 受賞等

- 南三島サッカーリーグ 第2位 与論中学校
- 大島地区中学校バレー大会 第4位 与論中学校

◆ 入賞 おめでとう ◆

## 3月の行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
3	5	水	公立高校入試、与論高校学力検査(～6日)	3	12	水	第77回卒業式
3	7	金	第2回PTA理事・評議員会 18:30～	3	13	木	鹿児島県公立高校合格発表
3	10	月	卒業式予行	3	23	日	PTA送別会
3	11	火	卒業式会場準備	3	25	火	修了式、離任式

※ 学校生活について活動開始や下校時刻について繰り返し書いてきました。今年度もあと数日で3月に入ります。自分の目標を達成するために取り組んできたことがあると思いますが、その取組は「準備」「実践」「後始末」の繰り返しです。締めくくりの3月を迎えるということで「後始末」について書きたいと思います。「後始末」については「実践」に夢中になるとつい忘れがちだと思います。学校生活の中の「朝の活動」「授業」「給食」「掃除」「部活動」「放課後の活動」その最後の「後始末」まで責任をもってやれていますか。「後始末」がしっかりできているかできていないかで、その人の「やるぞ」という本気度が分かります。最後まで本気の取組が積み重なることで結果につながるのではないのでしょうか。今年度も残り一ヶ月、本気を出して「後始末」まで意識してみてもいいと思います。